

■社協双葉台支部だより

ふれあい 双葉

2025 No.19

令和7年2月1日発行

編集 水戸市社会福祉協議会双葉台支部編集委員会

発行 水戸市社会福祉協議会双葉台支部

〒311-4145 水戸市双葉台2-1-5

双葉台市民センター内

TEL&FAX (029)251-3991

社会福祉協議会(社協)は、「だれもが元気で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めています。



「福寿のつどい」を開催

多年にわたりご尽力いただいた高齢者の皆様に感謝と敬意を表するとともに、長寿を祝う機会として実施されてきました敬老会は、「福寿のつどい」に変わり三年目を迎え、今年度も9月14日に双葉台市民センターにて開催しました。開会式では天下井実行委員長挨拶に続き、市社協の立原次長、市長代理の三宅副市長、出席者代表の菅原様よりご祝辞を頂きました。

対象者は、75歳・80歳・85歳・90歳以上です。双葉台地区の対象者約七百名に対し、祝詞と招待状、お祝い品を、町内会長・班長様からお渡しいただいたところ、79名の出席を頂きました。

福寿のつどい開催の趣旨は、「出会・ふれあい・ささえあい」のきっかけとなる場の提供です。地域活動団体や高齢者クラブのご協力で、充実したプログラムが出来上がり、当日も実行委員の連携でスムーズに運営できました。

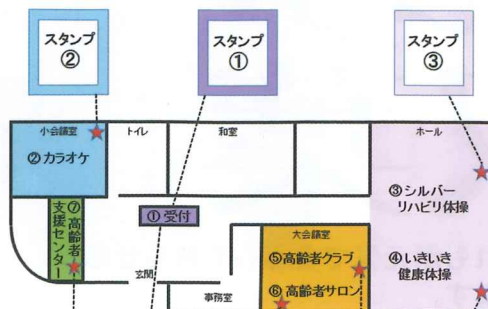
新しい試みとして実施した「のぼり旗とスタンプラリー」のおかげもあって、どの部屋も多数の訪問者で盛況なつどいとなりました。

②昭和の名曲から最新曲まで 熱唱しました



福寿のつどいスタンプラリー

1. 受付で①スタンプをもらいましょう。
2. ②～⑦のスタンプは各部屋にあります。全部の部屋をどうぞ。
3. 全部のスタンプが集まったら受付で記念品をもらってください。



①受付から開会までFMトリオが 得意の音色で参加者をお出迎え



⑦西部高齢者支援センターで この機会に悩み相談・・・ 福島議員は悩み相談ではなく もちろん激励訪問です



③④椅子に座ってのストレッチ、 音楽に合わせたリズム体操 を楽しみました



⑤⑥輪投げと折り紙で 手足と脳を活性化

元気です 幸せ一俳
九十九まで
(金森謙二郎)

食事良く 野菜鰯に
日高昆布
(金森謙二郎)

とんぼとり 孫と疲れて
昼寝かな
(秋野みのる)



黄金波 穂ゆらす風に
涼恋ふる 米価のことなど
しばし忘れて
(菅野和子)

立ちまセー 一声ありて
老いの朝
(菅野和子)

夏日とはいはねど暑いね
福寿のつどい
(菅野和子)

今年も多数ご応募を頂きました。
景色が目に見えます。

福寿でも 妻には服従
傘寿なり
(読人知らず)

後期高齢 講習バスで
三年乗れる
(久保親二)



そよかぜに 秋を感じる
淋しさよ
(飯塚倫代)

あつい中 冷たいお水ず
元氣出る
(飯塚教二)

再会を 喜びあえる
つどいの日
(小瀬和子)



一年を振り返って

支部長 天下井 治男

福祉協議会双葉台支



令和六年は能登半島地震が起きて衝撃的な始まりでした。復興もままならず、一年が過ぎたように思います。当社会福祉協議会も下の記事の通り講演会を実施し、参加者の活気ある活動を生み出す事ができました。

福寿のつどいではスタンラリーを実施することにより、参加者の方も会場移動がしやすく色々な経験ができたと思います。

今年は去年に続く猛暑の夏でした。熱中症にならずに過ごす事が大変でした。

これからは高齢社会に向けて、高齢になっても社会の一員として役割を果たすことが求められます。

当社会福祉協議会も高齢社会を迎えるの対応をしていきたいと思えます。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

市民スポーツフェスタ

住民の会主催のスポーツフェスタは、今年度も双葉台市民センターを会場に10月6日、残暑も和らいだ秋空の下、開催されました。地域高齢化に合わせて、地域でスポーツを楽しみ、体を動かしながら、世代間交流を図る企画です。

種目は事前登録の「3人リレーグランドゴルフ、玉入れ、体力測定」と当日受付の「ボッチャ、輪投げ、魚釣りゲーム、フライングディスク、パン食い競争・玉手箱」です。民生委員は主に開眼片足立と握力測定を担当しました。スポーツを通して、地域や家族の絆が深まった一日でした。



2分で合格のはずが、、、「おっとっと」



外側からの3ポイントシュートなるか？

社協支部研修会で災害ボランティア・防災・減災アイデアを学ぶ

ご近助あんしんネットは住み慣れたまちで誰もが安心して生活が続けられるための地域づくりを目指しています。今年度は11月20日「災害への準備」をテーマに講演会と実習を双葉台市民センターにて開催し、30名が受講しました。



前半は、双葉台在住で県社会福祉協議会の中村英一様から能登半島で震災ボランティアに直に携わられたから分かる「被災者の心情と寄り添い方」について講演頂きました。

後半は、堀原地区在住で防災士の相羽晴子様から避難所で深刻となる「災害時のトイレ」事情をご紹介いただきました。被災後3日間は停電、断水、仮設トイレなしを覚悟して、ポリバケツマイトイレに必要な段ボール便座を自作実習しました。





個性的な作品が完成しましたね



市民センターで毎月第四土曜日 (AM 10:00 ~ AM 11:30) に開催しています。

毎回十数名が参加してシルバーハビリ体操、輪投げ、トランプゲームを楽しんでいます。おしゃべり会では、楽しい会話から明日のエネルギーを蓄えることができます。

11月の会では「クリスマスリース作り」を楽しみました。

お誘いあわせて参加してみたいかがでしょうか。

サロン「おしゃべり会」

社協双葉台支部会計報告

(収入)

(単位：円)

科目	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	摘要
交付金	663,538	622,600	支部活動助成金 地域福祉活動費 募金活動事務費
補助金	1,001,500	1,152,500	福寿のつどい開催準備金 開催経費 (市社協) 歳末助け合い事業配分金
繰越金	186,219	217,310	
寄付金	—	1,000	
雑収入	5,002	300	
合 計	1,856,259	1,993,710	
(支出)			
事務費	101,393	100,000	印刷機インク、コピー用紙
会議費	14,627	15,000	総会、役員会
研修費	9,612	50,000	研修参加費
事業費	1,283,207	1,580,000	福寿のつどい サロン、広報誌 一人暮らし高齢者訪問 近所あんしんネット
助成金	220,000	210,000	住民の会、高齢者クラブ 子ども会育成会、女性会 女性防火クラブ、保健推進員 いきいき健康クラブ 安心安全地域づくり協議会
予備費	10,110	38,710	
合 計	1,638,949	1,993,710	

生活支援情報とクッキーを
お配りしました

おひとりでお住いになる75歳以上の263名を、社協役員で手分けして12月中旬に訪問しました。

歳末助け合い募金助成事業
おひとり暮らし高齢者訪問

令和6年度社協会費等納入状況

社協会費 921,600円
(半額が次年度当支部活動交付金に)
共同募金 933,250円
(日赤の配分法により次年度当支部に助成)

ご協力ありがとうございました。

編集委員

小瀬 洋一
及川 義明
桑名美治子
粉川 幹弘

夏の暑さが恋しくらい年末は冷えてきました。追い打ちを掛けて灯油や食料品が高騰し災害の様相です。災害時には防災の三助(自助・共助・公助)をバランスよく連携することが重要です。われわれの社会福祉活動は三助の要(共助)です。本紙をまとめながら皆様の日々の活動に感謝し、引き続きのご協力をお願いいたします。

編集後記

西部高齢者支援センターのご紹介

双葉台・赤塚中学校校区を担当しています。高齢者の相談窓口として電話、訪問、来所にて相談をお聴きしています。福祉サービス等のご紹介、また必要に応じて関係機関と連携を図り対応しております。様々なテーマで住民向けセミナー、医療福祉等専門職との交流会、認知症カフェの開催や出前講座を実施しています。



私たちにお気軽にご相談下さい。 ☎ 029-246-6333
相談時間：月曜日から金曜日 8:30 から 17:15 まで



オハナコート1号棟1F
(市民センター向い)